

# 学校だより

主体的に生きる力～幸せな社会を創る担い手～



美術部作品

## 学びは学校の中だけじゃない —挑戦する則松中の生徒たち—

本校では、日々の授業や行事を通して「自分たちで考え、行動し、次につながる学び」を大切にしています。最近の生徒たちの姿から、その一部を紹介します。

### 食品ロス削減の挑戦 ～生徒会の主体的な取組～

食品ロスの削減、そして地球環境を守るために、生徒会が中心となって、「**生ごみのコンポスト化(堆肥化)**」に挑戦しています。

文化祭ではこの取組を自分たちの言葉で発表しました。給食の残飯(ご飯)をコンポストに入れ、北九州市環境局の支援も受けながら、できた堆肥を花壇の野菜づくりに生かそうと試行錯誤しています。うまくいかないこともあります。が、「どうすればよくなるのか」を話し合いながら、一歩ずつ前に進んでいます。



また、文化祭の中で、生徒会から「**家庭でもできる生ごみリサイクルにチャレンジして、ごみを減らしてみませんか**」という提案もありました。学校での学びが、家庭や地域へと広がっています。

### 福原賞受賞 ～気づき、行動する力～

表彰式 (写真)

2年生の生徒1名と1年生の生徒1名が、学校近くのごみステーションでごみが散乱していることに気づき、進んで清掃を行いました。その行動に心を動かされた地域の方から、感謝のお手紙が学校に届き、このことが評価され、福原賞の受賞につながりました。

特別なことではなく、「おかしいな」「きれいにしたいな」と感じた気持ちを行動に移したことが何より素晴らしい点です。本校が大切にしている「自分から動く力」が、確かに育っています。

## 和楽器演奏会 ～本物に触れる学び～



2月2日(月)、本校の特色である伝統文化の学びとして、2年生の和楽器演奏会を行いました。三味線、箏、尺八の演奏を生で聞いた生徒たちは、「音がやさしくて心が落ち着いた」「音が重なるときのハーモニーがとてもきれいだった」と感想を述べていました。

本物に触れる体験は、教科書だけでは得られない感動と学びを与えてくれます。

これらの取組は、どれも「自分たちで考え、挑戦し、次につなげようとする学び」です。失敗しても大丈夫。うまくいかなくとも、そこから学べばいい。

則松中学校は、これからも生徒たちの「やってみたい」「もっと良くしたい」という思いを大切に、次の挑戦を応援していきます。

## 新入生学校見学会を実施しました

2月6日(金)、小学校6年生の児童のみなさんが本校を来校し、新入生学校見学会を行いました。

当日は、校舎内の見学や生徒会による学校紹介ビデオの視聴に加え、部活動の様子を実際に見学し、中学校生活の一端に触れてもらいました。

はじめて中学校を訪れる児童も多く、最初は緊張した表情が見られましたが、見学が進むにつれて「やってみたい」「楽しそう」といった前向きな声も聞かれました。

**本校では、児童一人一人が安心して入学し、自分のやりたいことや頑張りたいことを見つけ、主体的に挑戦できる学校でありたいと考えています。**

また、在校生の皆さんには、これから入学してくる後輩に向けて、**自ら挑戦する姿や、仲間とともに考え、精一杯取り組む姿を、日々の学校生活の中で「背中」で示してほしい**と思います。

本校の教育目標である「主体的に生きる力～幸せな社会を創る担い手として～」の実現に向けて、新たな仲間を迎える準備を、学校全体で進めていきます。

見学会の様子(写真)